



修了式によせて

校長 富川 麗子

この一年間、保護者の皆様方、地域の皆様方には、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り、本当にありがとうございました。本日は、令和5年度の修了式でした。なお、3月2日(土)には、第54回卒業式が実施され、174名の卒業生が本校を巣立っていきました。卒業式式辞の一部を紹介し、今年度最後の学校長挨拶とします。

(中略) 北陸方面への修学旅行では、仲間と旅をすることの楽しさに溢れ、普段の学校生活とは違う積極的な行動や、生き生きとした姿を見ることができました。修学旅行で訪れた能登半島方面等で、今年、元旦の夕刻に発生した地震により、甚大な被害を受け、今なお避難生活が続いている多くの地域住民の皆様に対して心からお見舞いを申し上げます。一日も早い復興を願っております。

現在、避難生活をしている方々の絶え間ない努力と支援があって、皆さんは、修学旅行先で、北陸方面の生活様式、伝統文化、美しい街並みなどで体験させていただくことができました。能登半島など北陸方面の方々の生活再建に向けて、皆さん一人一人が思いを馳、お互いが助け合っていく絆の大切さをかみしめてください。そして、いつか、また機会があれば北陸方面を訪れることで、復興支援に役立つ人となってください。



(中略) 一つ目は、「見えない努力を大切にする」ということです。

皆さんは、2年生の時の家庭科の授業でエプロン製作を行いました。私もその時の皆さんが苦勞して作品を製作し、沢山努力をしている姿をよく覚えています。

ファッションデザイナー等、プロが製作する作品は、型紙を描き、一枚の布から時間をかけ、計画的にお客様の要望に応えた物へと創り上げていきます。お客様の大事な品物ですので、丁寧に製作していきます。特に、複雑で難しい箇所については、製作の中に「仮縫い」という工程を加えて、何度も試し縫いをし、お客様の希望する製品に近づけていきます。そうして、完成した製品をお客様にお渡しします。プロとして、お客様の喜ぶ笑顔、満足した笑顔を見たいという一点に集中し、仮縫いで途方もなく苦勞した「見えない努力」等については、お客様に一切説明することはありません。

このようなことは、私たちのまわりにおいても当てはまることが多いと思います。つまり、見えない努力が、私たちの生活、学習、仕事、そして人生を支えてくれているのです。この見えない努力がプロとしての技術力や信頼性を一層高め、創造的な仕事ができるようになり、さらに笑顔で喜んでくれるお客さんを増やすことになっていくのです。皆さんもそうした「見えない努力の大切さ」を感じ取り、一つ一つの行程を大事にしてください。見えない努力は、決して無駄にはならず、必ずや実を結び、皆さんの人生を豊かにしてくれます。

次に、「自分の眼でものを見て、自分の頭で考える」ということです。

科学技術が発展するにつれて、様々な世界の謎や不思議を解き明かしてきました。しかし、地球温暖化や自然災害など、深刻な状況が次々と発生し、「想定外」のことが起きています。「想定外」のことが起きた時に、どう対処するかが、皆さんの人生の方向を決めることになるでしょう。「もうだめだ」と諦めてしまうか、それとも「この状況をどう切り抜けていくか」と踏ん張って、今一度冷静に考えるかで、次の展開は大きく変わってくる可能性があります。

イタリアの「天文学の父」と呼ばれたガリレオ・ガリレイは、金星等の観測から当時信じられていた天動説は間違いで、コペルニクスの地動説が正しいことを唱えました。ガリレオは、『天文対話』という書物の中で、登場人物の一人に次のようなセリフを語らせています。「他の人の話を一方的に信じてしまって、なぜ君は自分で観察しなかったのですか?」「なぜ自分自身の目で見なかったのですか?」と。ガリレオは、この書物を通して、自分の眼でものを見て、自分の頭で考えることが一番大切であることを、人々に伝えたかったのでしょう。

卒業生の皆さんには、是非、「自分の眼で見て、自分の頭で考える」こと、このことを大切に、困難な場面に会っても、立ち止まり、今一度よく考え、そして実践してほしいと思います。そのことで、一点の光が見えてくるはずですが、その一点の光は、皆さんの夢や希望、可能性を照らす光です。その一点の光に向かって、皆さんは、自分の眼で見て、自分の頭で考えて、自分の人生を自分で切り拓いていってください。(後略)

【自転車通学時におけるヘルメットの着用について】 皆さんの安全確保は、皆さん自身にとって最優先事項です。自転車通学の際には、必ずヘルメットを着用してください。事故や怪我を未然に防ぐためにも、このルールを守っていただきたいと思います。安全な通学を心掛け、皆さんが笑顔で学校に到着できることを願っています。どうぞよろしくお祈りします。